

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	村岡 強志議員	<p>1 伊佐市の水道料金について</p> <p>2 農地災害復旧について</p>	<p>(1) 伊佐市における水道料金の現状は。</p> <p>(2) 水道管などの水道設備の耐用年数は。</p> <p>(3) 地震、災害時の対応対策は。</p> <p>(4) 今後、伊佐市における水道料金の維持をどう考えるか。</p> <p>(1) 令和3年の7月豪雨における災害復旧の進捗状況は。</p> <p>(2) 令和3年発生農地災害の現在の発注件数は。また発注されなかった箇所への復旧の見通しは。</p> <p>(3) 災害箇所の放置は2次災害を招く恐れがあるがその対策は。</p> <p>(4) 今後、台風や豪雨災害等が発生したときの対応対策は十分か。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	福本千枝子議員	1 日本フードパッカー鹿児島(株)とピュアフード鹿児島(株)の工場閉鎖に伴う対応策について	<p>日本フードパッカー鹿児島(株)は日本ポーク(株)として、(株)ジャパンファームと日本ハム(株)が共同出資して設立された。敷地、建屋はジャパンファームが所有し、当初、1日500頭の豚の処理を目標に1973(昭48)年7月30日から操業を開始した。ジャパンファームが育てた豚の解体が目的であったが、地方からの牛・豚の持ち込みも可能となった。工事費5億5,000万円で、当初、従業員は100人前後であったとある。現在の解体処理能力は1日当り豚1,600頭・牛200頭で、ジャパンファームが撤退した3年前まではフードパッカーへの出荷頭数は年間17~18万頭であったと聞く。今回、フードパッカー社長から突然工場閉鎖について告げられ、300人の従業員の驚きと戸惑いは計り知れず、伊佐市に大きな衝撃が走った。そこで、</p> <p>(1) 市内では撤退の理由について色々な情報が飛び交い、大きな波紋を広げ問題視されている。撤退の主な理由は何か。</p> <p>(2) 先日の全協での説明では、従業員に5月末までにアンケートを取るとの説明だったが、アンケートの内容について伊佐市への報告はあるのか。</p> <p>(3) 後を引き継ぐ企業誘致の見込みはどうか。</p> <p>(4) すでに転職を決めている従業員もいると聞く。状況の把握はできているか。</p> <p>(5) 就労支援や経済的に困窮する従業員に対しての伊佐市独自の支援を考えているか。</p>	市長	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	福本千枝子議員	2 子どもの視点に立った行政運営について	<p>20数年前、旧大口市では「子ども議会」が開催され、子どもの視点からのまちづくりの提案等の一般質問がなされ、意義ある「子ども議会」だったと記憶している。今、南日本新聞には県内各地の高校生・中学生の発案や小学生と地域の方々との交流活動、また、ひろば欄の若い目では提言等が毎日掲載されている。小学校の社会科の授業でも議会について勉強し興味を示している。そこで、</p> <p>(1) 国内ではバスケットボールのリーグ戦が人気を集め、県内でも鹿児島レブナイズの活躍で盛り上がってきた。原点は井上雄彦氏の漫画「スラムダンク」にあると言っても過言ではない。スラムダンクの練習会場のモデルは大口高校の体育館と聞く。この事もあり、井上雄彦記念館を作ってほしいと中学生から熱望された。記念館は無理でもモニュメント設置の検討はできないか。</p> <p>(2) 図書館をもっと広くして、勉強できるスペースがほしいとの声があるが、新庁舎建設の基本設計ではどうなるか伺う。</p> <p>(3) 本年度、英検の受検料を半額補助とする。全額補助できないかとの声があるがどうか。</p> <p>(4) 東京オリンピックでのスケートボード競技では若い選手の活躍で一躍脚光を浴びた。その事もあり、スケートボードの人气が高まり、本市でも若い世代が練習している。練習会場を設置してほしいとの声があるが、見解は。</p>	市長 教育長	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	福本千枝子議員		<p>(5) SDGsの活動の中でごみ拾いの活動を推進している自治体もある。本市の子どもたちへの教育状況はどういう状況か。</p> <p>(6) 新庁舎建設について、今回は若い世代の関心が高く、特に中学生や高校生の熱い声を聞く。これらのことから、小学生から高校生までの生の声を聞く「子ども議会」の開催はできないか。教育日本一を目指すきっかけになると考える。市長・教育長の見解を伺う。</p>		

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	森田 幸一議員	<p>1 農業振興策について</p> <p>2 市道徳辺湯之尾線改良工事について</p>	<p>(1) 伊佐平野に小麦生産団地を推進できないか 国は、小麦の国際価格上昇がパンや麺類などの値上がりに繋がるおそれがあるので、対策として外国産から国産の小麦に切替えを推進し、国産小麦の生産拡大を後押しすると報道されている。鹿児島県内で伊佐平野は米どころとして名を轟かしているが、米、大豆など収穫後に、活用されていない冬場の水田に、水田裏作として、市、農協、農業公社、事業者あげて伊佐市全体で小麦生産団地を推進することはできないか。小麦栽培をすることにより所得向上に繋がると思うが、見解を伺う。 ア 小麦作付けの状況を伺う。(外国、国内、鹿児島県内、伊佐市内) イ 生産性向上に必要な営農技術等検討する小麦栽培専門部会を設置することはできないか。 ウ 伊佐市は農業公社が作付、防除、刈取、乾燥作業等体制がやや整っている。取り組むことによって生産者、農業公社、事業者、農協がお互いに活性化し、農業の展望が見えてくると思うが、見解を示せ。</p> <p>(1) この市道は菱刈山田地区から住友鉦山山田坑へ通じる市道で、菱刈鉦山の鉦石を搬出する大型車両が頻繁に通行する市道である。この区間、2箇所が幅員が狭く改良工事の必要性がある。山田坑側延長60メートルは改良工事の計画に入っているが、もう1箇所の山田集落側延長90メートルが残っている。 ア 山田坑側延長60メートルの改良工事の進捗状況について イ 山田集落側延長90メートルの改良工事の計画について</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	今村 謙作議員	1 新庁舎建設について	(1) 新庁舎建設において、当初の計画では駐車場について、来庁者とふれあいセンター利用者の駐車場をまとめて施設近傍に設置とあるが、現在、見直し中である。今後の計画では変更も出てくると思うが駐車場の確保について伺う。 ア 公用車、職員等の車の台数は。 イ 来庁者、ふれあいセンター利用者はもとより、公用車、職員、議員等の駐車場の確保はどのようにするのか。	市長	
		2 移住・定住促進事業について	(1) 移住・住み替え促進事業と空き家・空き店舗バンクにおいて、これまでの実績を伺う。	市長	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	武本 進一議員	1 ヤングケアラーについて	<p>(1) 本来は大人が担うような家事や育児、介護などを日常的に行う子どもをヤングケアラーと言うが、本市においてどのぐらいの子どもが該当しているのか伺う。</p> <p>(2) ヤングケアラーの実態調査を進めていると思う。その中で見えてきた課題はどのようなものか伺う。</p> <p>(3) 各関係機関や部署との連携と、本人を含めた家族の皆さんへの対応について見解を伺う。</p> <p>(4) ヤングケアラーに該当する児童、生徒に対しての関わり方や心のケアと、支援のあり方について対策を伺う。</p> <p>(5) ヤングケアラー問題について市長、教育長の考えを伺う。</p>	市長 教育長	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員	1 山野児童クラブのトイレについて	<p>(1) 山野児童クラブを利用している複数の保護者から次のような相談があった。</p> <p>現在、山野児童クラブには専用のトイレがなく、スタッフも子どもたちも校庭の隅にある 60mほど離れたトイレを利用しなくてはならないとのことで、子どもたちのために市に改善を検討してもらえないかと要望があった。明るい時間に現地を確認に行ったところ、確かに子どもの足では遠いと感じられた。トイレは掃除の行き届いた男女別の水洗トイレであったが蛍光灯が一つずつしかなく、夜はやや暗いように思われた。スタッフの方と話したところ、「道路がトイレの入り口から近いので、女の子が行くときは見てないと…」と、建物と距離があることで性被害防止のための配慮もされていた。</p> <p>児童クラブにはトイレに関する設置基準等は設けられていないのか。</p> <p>(2) 市内にトイレ事情が同様の児童クラブは他にあるか。</p> <p>(3) 排泄は衛生の問題にとどまらず、健康、人権、そして尊厳に関わる問題でもある。子どもたちが安心・安全・快適に過ごせるよう、大人の男性ではなく子ども目線で、さらに性被害に遭う可能性が男児より高い女兒の目線を重ねて環境をチェックしていただきたい。子どもたち、保護者の意見も聴き、改善が可能かどうかを検討していただけるか。</p>	市長 教育長	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員	2 新庁舎建設及びふれあいセンター改修について	<p>(1) 今年度の事業進行計画について 3月議会で今年度内に基本設計を決定し実施設計に着手したいとの答弁があり、それから3か月が経過した。そこで、今年度の新庁舎建設及びふれあいセンター大規模改修事業進行計画を「〇月に〇〇を行う予定」というかたちでわかりやすく示されたい。</p> <p>(2) 市民に対する早急な成果の提示について ア 庁舎建設推進係は西暦何年に何人体制でスタートし、今年で何年目になるのか。令和8年度の新庁舎運用開始まで同じ体制が続く予定か。 イ 令和4年度の新庁舎建設事業予算額は2億6,820万円である。令和3年度までのふれあいセンター改修も合わせた事業費の累計を伺う。 ウ 昨年6月に「新しい庁舎のカタチが見えてきました」という資料が配布されてから1年が経つが、その後市民に対しては何の情報も提供されていない。議会でも議員からの個別の質問に対する答弁がされるのみである。多額の税金を投入し、当初の計画よりもはるかに長期にわたる事業を計画している以上、納税者であり市政の主権者である市民に対し「やり直し」の経過報告として何らかの成果を示すべき時期ではないか。少なくとも昨年配布されたチラシ程度のアウトラインは現時点で市民に提供できるはずである。早急に市民、議会への成果の提示を求めたい。この点に関し市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 中央公園と子どもの意見について ふれあいセンター横の中央公園は大口地区の子どもたちの数少ない居場所の一つである。保護者はもちろんのこと、公園を利用する子どもたちにも基本設計案に対する意見表明の権利があり、望めばその機会が与えられることを確認したいが、いかがか。</p>	市長 教育長	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員		<p>(4) 新市まちづくり計画一部変更との関連について</p> <p>ア 合併協定は自治体と自治体の公式かつ正式な取り決めであり、十数年経過したというだけでは反故にできない。しかし、住民と議会に対し十分な説明をし合意を得れば地方自治の本旨（地方自治法第1条）に基づくとはいえるため何の問題もない。総合支所方式との定めがあっても分庁方式での運用に問題がないのは住民の意思に反していないからである。そこで、まずは庁舎の方式について菱刈地区住民の合意を得るべく、この点に特化して早急に説明会を開催すべきではないか。</p> <p>イ 少なくともこの2年間、庁舎建設事業は市民の一大関心事であったが、昨年7月に予定されていた基本設計案の提示は延期されたまま、どんな庁舎ができるのか、税金をいくら使うのか、どんな機能を持つのか、市民も議会もまだ知らされてもいない。それにもかかわらず、執行部の構想に沿った内容の新市まちづくり計画の変更を先に議案として提出することは民主的な行政とは言い難いのではないか。情報公開と説明責任を果たしたうえで合意を得るのが先で、その後まちづくり計画の変更を提案すべきではないか。市長の見解を伺う。</p> <p>ウ 第8章公共的施設の適正配置と整備 2庁舎整備の基本的な考え方 ◆事務所の位置について の変更案には「今後、建設する新庁舎の位置を大口ふれあいセンター周辺とする」とあるが、事務所の位置は番地まで決定すべきとの行政実例に反するのではないか。また、まちづくり計画の変更は過半数議決で足りることを利用して、事務所の位置を定める条例の改廃は出席議員の3分の2以上の者の同意がなければならないと定める地方自治法第4条第3項を潜脱するものではないか。</p>		

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員	3 災害から市民の命を守るために	<p>(1) 新聞報道によると梅雨や台風の時期を前に、県内各自治体、事業所等で防災会議や災害を想定した訓練が行われている。伊佐市の備えはどうか。</p> <p>(2) 各戸に配布されている防災地図には面積392km²の伊佐市がA全サイズ両面に掲載されている。市内全域の危険区域が一目でわかる点では優れているが、防災ハンドブック最終ページにあるように①自宅の位置確認、②付近の避難所確認、③避難経路を決める、④実際に経路を歩いてみて安全を確認、という使い方をするには縮尺三万分の一では小さすぎる。もっと縮尺の大きい、地区ごとの地図が必要ではないか。</p> <p>(3) 少なくとも昨年浸水や土砂災害のあった地区では、自治会未加入者や災害後に引っ越してきた住民も含めて地区ごとの防災対策会議を開き、想定される事態について住民と情報共有をし、避難に関する知識の更新、災害弱者対応の検討、防災まち歩きや避難訓練等をしておく必要があるのではないか。</p> <p>(4) 少なくとも昨年避難した高齢者施設とは、今年も避難することを想定して協議や避難先の準備、地元住民との協力体制構築等をしておくべきではないか。</p> <p>(5) 昨年9月議会終了後に避難所利用者から寄せられた声を交通消防防災係に届けたが、避難所の環境は昨年から改善されたのか。(例えば段ボールベッド、感染症対策及びプライバシー確保のための仕切り、トイレの手摺りなど)</p>	市長	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員		<p>(6) 自分たちの住むまちを知り防災・減災意識を高め、自助・共助・公助のレベルを上げて自分たちの生命と財産を守るために、災害後に災害の全体像を把握し対応を検証する機会（みんなの防災会議等）を行政内部だけでなく議会、市民とともに作れないか。</p> <p>(7) 今月から気象庁が線状降水帯の予測情報を発表するが、現時点では的中率は4分の1、見逃し率は3分の2程度との報道があった（5月19日付朝日新聞）。また、昨年内閣府が実施した調査で「防災知識のある職員が不足している」と回答した自治体が85%、「土砂災害の危険度分布や河川水位が刻々と変わるため避難指示を出す判断が難しい」が66%、「夜間や未明に避難情報を発令することに悩みがある」が55%（4月22日付日経新聞）に上る。昨年7月に土石流が発生した熱海市は気象庁が土砂災害警戒情報を発表した後も避難指示を発令していなかったが、上記の理由によるものではないか。</p> <p>そこで、情報分析や避難指示発令サポートのために気象防災の専門家活用を検討してはどうか。</p>		

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	畑中 香子議員	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 庁舎建設問題について</p>	<p>(1) ロシアのウクライナ侵略に対して世界が厳しい批判の声を上げ、戦争か平和かが問われる中、自民党は「敵基地攻撃能力」「反撃能力」の名で、敵基地にとどまらず、「指揮統制機能等」まで攻撃する能力の保有と、5年以内に軍事費をGDP比2%以上にする大軍拡を提言した。また自民党など一部の政党より憲法9条を改憲することや核兵器をアメリカと共有するなどといった主張がなされていることについて、核兵器廃絶平和都市宣言を行っているまちの市長としてどのように考えるか、見解を伺う。</p> <p>(1) 新市まちづくり計画改定により、新庁舎を「本庁方式」とする議案が示されている。合併時の合意を13年たったからといって反故にすることは菱刈の住民から理解が得られないと思うが、このような取り扱いができる根拠を示せ。市長と語る会において「庁舎が二つ存在することは非効率的である」といわれたが、「菱刈庁舎は教育庁舎とする」という考えはどのようになったのか。</p> <p>(2) 新庁舎の執務室面積は、現在の菱刈庁舎の機能を移行することが可能な面積となるのか。「菱刈庁舎は活用する」とのことだが「総合的な機能を持つ支所」は担保されるのか。 庁舎として活用するなら当面庁舎面積は1万㎡の規模で存在することになる。公共施設管理計画から逸脱することになるのではないか。</p> <p>(3) 市長は、菱刈庁舎にこども課がないことで菱刈の子育て世帯の方に不便をかけていることを言われるが、現在の菱刈庁舎の機能にこども課を追加し、総合的な機能を持つ庁舎として存続させることを保証すべきではないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	畑中 香子議員	3 コロナ禍、ウクライナ情勢、円安で困窮する市民への支援策について	<p>(4) ふれあいセンターと一体的に作る計画に変更はないとのことだが、強度の問題やアスベスト除去の問題など説明がないままである。一体化にこだわる理由は何か。</p> <p>(5) 計画を白紙にもどし、建設地を含めて根本的に見直すべきではないのか。</p> <p>(1) 世界的な新型コロナウイルスの影響やウクライナ情勢の緊迫化で、飼料配合に必要な穀物価格が上昇している。国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を活用し、畜産農家の飼料購入への助成を行うべきではないか。</p> <p>(2) プレミアム商品券は本当に困窮する市民にとっての支援策とはならない。商工業者への振興策とともに市の独自財源も投入し、危機的な状況である市民生活に対して暮らし応援のための緊急支援策を行うべきではないか。</p>	市長	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち15枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	星野 元興議員	1 航空機の低空飛行について	(1) 以前ほどではないものの、現在も低空飛行する航空機が伊佐市上空で確認されている。馬毛島へのFCLP施設移転、鹿屋基地への米軍無人偵察機の配備が進めば、ますます、伊佐市上空での低空飛行が問題視されることも考えられる。 ア 市長の見解を伺う。 イ 対応策はあるのか。	市長	
		2 子育て支援センター「ルピナス」について	(1) 現在、大口地区の子育て支援センターとして、伊佐市総合交流拠点施設e-Gaなんちゅう内にルピナスが設置されている。しかし、車でなければ行くことができない立地にあり、不便であるとする。 ア ルピナスが大口ふれあいセンターからe-Gaなんちゅうに移転した理由と経緯を伺う。 イ 今後、利便性の良い場所への再移転は考えられないか。	市長	
		3 スケートボード施設について	(1) 令和3年第2回定例会にて、「スケートボード、BMXの施設利用について検討していく」と答弁されている。その後の進捗状況を伺う。	市長 教育長	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち16枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	庵下 信一議員	1 日本フードパッカー鹿兒島㈱操業停止の影響と今後の対応について	(1) 処理頭数が減少しているとの情報を会社の説明の前に把握されていたか伺う。 (2) 市の歳入への影響額と想定される市内経済への影響について伺う。 (3) 従業員の意向調査結果について会社からの報告はあったか、またその内容について伺う。 (4) 関連企業雇用対策本部会議の開催状況と意向調査結果を受けての具体的な対応について伺う。	市長	
		2 重留地区多目的広場の有効活用について	(1) 多目的公園のまま維持するのか、移住・定住促進住宅用地として整備出来ないか。	市長	
		3 新庁舎建設について	(1) 新市まちづくり計画の一部変更提案について、庁舎建設に係る市民説明会開催後に提案すべきではないか。 (2) 建設資材等が高騰している状況の中、新庁舎建設をそのまま遂行するのか伺う。	市長	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち17枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	緒方 重則議員	<p>1 企業の撤退について</p> <p>2 特別支援学校誘致について</p>	<p>ここ最近、相次いで企業撤退の動きがあり地域全体に衝撃を与えたことは言うまでもない。現状及び今後の取り組みについて市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 日本フードパッカー鹿児島(株)の工場閉鎖について ア 関連企業雇用対策本部会議及び離職者相談窓口対応の現状はどうか。 イ 転職・離職を余儀なくされる社員の方々の経済的な負担軽減としての支援策はあるか。</p> <p>(2) (株)前島商店(松栄ストアー大口店及び山野店)の閉店について ア 地域住民へ影響の分析とその対応は。 イ 「買い物難民」に対する今後の対応はどうするのか。</p> <p>(3) 今後、人口減少が進む中、雇用を確保していくため地域企業との関わりや情報収集をどのように密にしていく考えか。</p> <p>他市町村を含め誘致の声が上がっていると認識している。その中で、これまでも継続して誘致活動を進めてきた本市としては、譲れない案件である。</p> <p>(1) 県教育庁との協議は現在進んでいるのか。</p> <p>(2) 他市町村との明確な取組みの違いを示す必要があると考えるが、市長の考えを伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長</p>	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち18枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	岩元 努議員	1 伊佐市DX戦略のビジョンは	<p>(1) 施政方針で触れられた「DX戦略に沿いながら変革を遂げていかなければならない」と示された自治体DX推進はなぜ必要なのか。自治体DX推進計画のビジョンとは何か。</p> <p>(2) DXによって、標準システムに移行される項目で、具体的に国が示したものは何か。また伊佐市独自に移行しなければならないシステムはあるのか。またその効果は。</p> <p>(3) 自治体DXを成功させるポイントとなる、人材確保、体制の強化は図られているのか。</p> <p>(4) 総務省の示す、重点的に取り組む6項目について、伊佐市の優先事項と課題は何か。</p> <p>(5) AIチャットボット導入など、相談窓口の365日24時間対応など業務改善は図られるのか。</p> <p>(6) デジタルに慣れていない方や、高齢者等のリテラシーの向上が最も重要と考えるが、その手段は。</p>	市長	

令和4年第2回定例会一般質問

令和4年6月7日・8日・10日

(19枚のうち19枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	岩元 努議員	2 農家負担のない農地整備事業について	<p>(1) 大田地区の農地中間管理機構関連農地整備事業として、総事業費13億2,300万円、受益面積47ha、受益戸数150戸、令和4年度～12年度の8年をかけて行う事業について、事業の詳細内容を伺う。</p> <p>ア 事業の目的と実施要件、要件に対する注意点。(1戸あたりの受益面積と作付けに対する要件は)</p> <p>イ 伊佐市内で今後、本事業を活用した農地整備を希望する地区はある。伊佐の持続可能な農業政策として事業推進すべきと考えるが、見解を示せ。</p>	市長	